

障がい福祉サービス提供に関する実態調査

【事業所用】

日頃から甲賀市の福祉行政に、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

甲賀市では、現在、将来にわたって安全で安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、「甲賀市第4次障がい者基本計画」及び「第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」の策定に取り組んでいます。

この調査は、障がいのある方を支援している福祉サービス事業所（施設）等の皆さまに、業務を通じ、サービスの提供者としての視点で感じている障がい福祉サービス等に関するニーズ等についてお尋ねするため、調査をお願いするものです。

なお、ご回答いただいた内容は、障がい福祉施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的に利用することは一切ございませんので、安心してお答えください。

皆さまには、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年12月

甲賀市長 岩永 裕貴

記入にあたってのお願い

<調査票の記入方法>

- 記入は**サービス事業所の代表者**の方をお願いします。
- 選択肢のあてはまる項目に○をつけてください。○をつける時は、【 】内に指定した数の範囲内でお答えください。質問によっては、回答していただく方が限定される場合がありますので、案内に沿ってお答えください。
- 「その他」の答えを選んだ時は、その内容を具体的にご記入ください。
- 選択肢ではない設問については、それぞれ該当する項目をご記入ください。

<調査票の返送方法>

- 記入後は、下記メールアドレスに、**令和8年1月9日（金）**までに送信してください。

このアンケートについてのお問い合わせ先

甲賀市 健康福祉部 障がい福祉課 施策推進係

E-mail:koka10253800@city.koka.lg.jp

電話：0748-69-2161 FAX：0748-63-4085

I 貴事業所の概要についてお聞きます。

※**令和7年11月1日**現在の貴事業所の概要についてご記入ください。

問1 貴事業所の名称及び提供しているサービスをご記入ください。

事業所名称	
提供しているサービス	
記入者	
電話番号	
メールアドレス	
サービス提供地域	

問2 貴事業所の職員数と有資格者についてご記入ください。

※1人で複数の資格を持つ職員がいる場合は、それぞれ該当するものをご記入ください。

※該当者がいない場合は、「0」とご記入ください。

(1)職員数

	年代	専任	兼務
職員数 (常勤)	10～30代		
	40代		
	50代		
	60代以上		
職員数 (非常勤)	10～30代		
	40代		
	50代		
	60代以上		

←事業所で定める所定労働時間（週40時間程度）を勤務する職員を「常勤」とする。正規・非正規は問わない。
 ←「常勤」以外を「非常勤」とする。

(2)有資格者

職種	年代	専任	兼務	職種	年代	専任	兼務
社会福祉士	10～30代			理学療法士	10～30代		
	40代				40代		
	50代				50代		
	60代以上				60代以上		
精神保健福祉士	10～30代			作業療法士	10～30代		
	40代				40代		
	50代				50代		
	60代以上				60代以上		
介護支援専門員	10～30代			言語聴覚士	10～30代		
	40代				40代		
	50代				50代		
	60代以上				60代以上		
介護福祉士	10～30代			保育士	10～30代		
	40代				40代		
	50代				50代		
	60代以上				60代以上		

職種	年代	専任	兼務	職種	年代	専任	兼務
ホームヘルパー	10～30代			児童自立支援 専門員	10～30代		
	40代				40代		
	50代				50代		
	60代以上				60代以上		
保健師	10～30代			(その他)	10～30代		
	40代				40代		
	50代				50代		
	60代以上				60代以上		
看護師	10～30代						
	40代						
	50代						
	60代以上						

問3 貴事業所の年間の利用実人数をご記入ください

※障がい重複している場合もそれぞれ1人として記入してください。

※該当者がいない場合は、「0」とご記入ください。

※発達障害の欄は児のみを記入してください。

※稼働率：「年間延べ利用者数」÷「年間延べ定員数」×100

※定員数を定めていないサービスについては、定員数と稼働率は未記入にしてください。

※稼働率は小数第一位までの数字を記入してください。

記入例

定員数	20人	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他	合計	実人員	稼働率
R4年度 利用者数	全体	5人	30人	10人	0人	0人	45人	40人	80%
	10～30代	5人					5人		0%
	40代		30人				30人		0%
	50代			10人			10人		0%
	60代以上						0人		0%
	甲賀市内	4人	25人	7人	0人	0人	36人		
	10～30代	4人					4人		
	40代		25人				25人		
	50代			7人			7人		
	60代以上						0人		

定員数		身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他	合計	実人員	稼働率
R4年度 利用者数	全体								
	10～30代								
	40代								
	50代								
	60代以上								
	甲賀市内								
	10～30代								
	40代								
	50代								
	60代以上								

R5年度 利用者数	全体								
	10～30代								
	40代								
	50代								
	60代以上								
	甲賀市内								
	10～30代								
	40代								
	50代								
	60代以上								
R6年度 利用者数	全体								
	10～30代								
	40代								
	50代								
	60代以上								
	甲賀市内								
	10～30代								
	40代								
	50代								
	60代以上								

問4 貴事業所では今後サービス提供量の増加や新規事業の展開を考えておられますか。考えておられる場合は、今後の計画（事業名、定員数、予定時期）について教えてください。

事業名	具体的な事業の内容	予定時期	定員数

問5 貴事業所では、本来の目的以上の支援（送迎・医療的配慮・私物管理等）を求められることがありますか。ある場合は具体的にどのような内容ですか。

	①よくある	具体的内容
	②時々ある	
	③あまりない	
	④ない	

問6 貴事業所では、過剰なサービス（洗濯、爪切り・服薬管理、長時間の見守り・介助等）を求められた場合、どのように対応していますか。

--

II 貴事業所の人材確保と人材育成における現状と課題についてお聞きます。

問7 過去3年間の採用人数をご記入ください。

職 種	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	職 種	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
社会福祉士				理学療法士			
精神保健福祉士				作業療法士			
介護支援専門員				言語聴覚士			
介護福祉士				保育士			
ホームヘルパー				児童自立支援専門員			
保健師				その他()			
看護師							

問8 過去3年間の離職者数をご記入ください。

職 種	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	職 種	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
社会福祉士				理学療法士			
精神保健福祉士				作業療法士			
介護支援専門員				言語聴覚士			
介護福祉士				保育士			
ホームヘルパー				児童自立支援専門員			
保健師				その他()			
看護師							

問9 職員が退職された主な理由についてご記入ください。【あてはまるもの全てに○】

☐	①定年退職	☐	⑥不規則勤務が困難
☐	②結婚・出産	☐	⑦職員の病気
☐	③家族の育児・介護のため	☐	⑧職場内の人間関係
☐	④他の業界への転職	☐	⑨利用者とのトラブル
☐	⑤他の福祉関係事業所への転職	☐	⑩退職の理由はわからない
☐	⑪その他		

【その他と回答された場合】具体的な内容

問10 現在のサービス提供体制において、職員の配置状況はどのように感じていますか。

※職員の設置基準を満たしているかどうかではなく、事業所として望む人員数を確保できているかどうかで判断をしてください。

☐	①かなり余裕がある
☐	②やや余裕がある
☐	③過不足なく適当である
☐	④やや不足している
☐	⑤不足している

問11 問10で「④やや不足している」「⑤不足している」と回答された事業所に伺います。不足している理由として考えられることは何ですか。【あてはまるもの全てに○】

☐	①採用が困難である
☐	②離職率が高い
☐	③事業拡大による不足
☐	④その他

【その他と回答された場合】具体的な内容

問12 問11で「①採用が困難である」と回答された事業所に伺います。採用が困難である原因として考えられることは何ですか。

【あてはまるもの全てに○、その他は具体的に記入してください。】

☐	①他産業と比べて労働条件が劣る
☐	②人材確保競争が厳しい
☐	③退職する人が多い
☐	④採用に必要な有資格者が少ない
☐	⑤増員分の人件費を確保できない
☐	⑥その他

その他の具体的な内容

問13 職員の採用や確保にあたり実施していることや今後取り組みを検討していることは何ですか。【あてはまるもの全てに○、特に効果があったものには◎、その他は具体的に記入してください。】

	①ハローワークの活用
	②チラシや求人情報誌の活用
	③ホームページで求人募集
	④求人募集の看板等設置
	⑤求人WEBサイトの活用
	⑥就職合同説明会に参加
	⑦高校生等の職場体験受入れ
	⑧高校・大学等への紹介依頼
	⑨資格取得のための助成制度を設けている
	⑩定年延長・退職者の再雇用
	⑪従業員の知人・友人等を紹介
	⑫その他

その他の具体的な内容

問14 現時点で貴事業所が望む人材はどのような方ですか。

【あてはまるもの全てに○、その他は具体的に記入してください。】

	①即戦力となる人材
	②若い人材
	③短時間（食事介助等の）の支援ができる人材
	④期間限定（長期休暇等）で仕事ができる人材
	⑤管理業務ができる人材
	⑥専門職人材
	⑦その他

その他の具体的な内容

問15－1 貴事業所では過去3年以内に外国人介護人材の受け入れをされたことがありますか。

選択肢【はい・いいえ】

問15－2 問11－1で「はい」を選択された場合3年間での受け入れ人数についてご記入ください。

【人数】

問16 人材育成上の課題はありますか。

【あてはまるもの全てに○、その他は具体的に記入してください。】

	①人材育成のための費用が十分に確保できない
	②人材育成を行う時間的な余裕がない
	③職員の経験・スキル等に個人差があり、効率的な人材育成が図られない
	④指導できる職員が少ない
	⑤育成しても職員が退職してしまい、技術を持った職員が定着しない
	⑥特に問題はない
	⑦その他

その他の具体的な内容

問17 人材育成のためにどのような取り組みをされていますか。

【あてはまるもの全てに○、その他は具体的に記入してください。】

	①事業所内研修		④専属指導係の配属
	②OJT		⑤事業所外研修会への参加奨励・支援
	③専門家招へいによる研修		⑥特に取り組んでいない
	⑦その他		

その他の具体的な内容

Ⅲ 障がい福祉施策全般についてお聞きします。

問18 甲賀市では、障がい福祉サービスなど、障がいのある人の福祉等に関する施策を総合的かつ計画的に進めるために「障がい者基本計画」及び「障がい福祉計画・障がい児福祉計画」を策定しています。この計画を知っていますか。【○は1つだけ】

	①計画の名前も内容も知っている
	②計画の名前は聞いたことはあるが、内容はよく知らない
	③知らなかった

問19 貴事業所では、今後の障がい福祉施策について、どのようなことを期待していますか。

	①施設入所者の地域生活への移行
	②精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築
	③地域生活支援
	④福祉施設から一般就労への移行
	⑤障がい児支援提供体制の整備
	⑥相談支援体制の充実・強化
	⑦障害福祉施設の充実
	⑧障がい福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

その他の具体的な内容（例：グループホームの整備、等）

--

問20 地域生活支援拠点等に関して、貴事業所が担うことができることを教えてください。

【あてはまるもの全てに○、その他は具体的に記入してください。】

	①緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談
	②緊急時の受け入れ・対応
	③体験の機会・場
	④専門的人材の確保・養成
	⑤地域の体制づくり
	⑥特にない
	⑦その他

その他の具体的な内容

--

問21 貴事業所の利用者が抱える課題について、教えてください。

	①支援者（親・家族など）の亡き後のこと
	②利用者の高齢化
	③自己負担額の増によるサービスの利用手控え
	④利用できるサービスが制約されることによる利用手控え
	⑤障害程度区分の判定結果によるサービス利用の制約
	⑥特別支援学校等の卒業生の進路
	⑦課題はない
	⑧その他

その他の具体的な内容

問22 サービス提供する際の関係機関との連携状況を教えてください。

【各項目で○はひとつ】

	と十分に い連 る携 が	とまあ れあ てま いあ る連 携 が	とあ れま てり い連 な携 いが	とま れっ てた いく な連 携 が	必 要 が な い る
①相談支援事業所					
②障がい福祉サービス事業所					
③医療機関					
④訪問看護					
⑤就労関係の支援機関					
⑥高齢者福祉事業所					
⑦NPO・ボランティア団体					
⑧行政機関					

問23 関係機関との連携について、どのような機関との連携を望みますか。

【あてはまるもの全てに○、その他は具体的に記入してください。】

	①相談支援事業所
	②障がい福祉サービス事業所
	③医療機関
	④訪問看護
	⑤就労関係の支援機関
	⑥高齢者福祉事業所
	⑦NPO・ボランティア団体
	⑧行政機関
	⑨その他機関

その他の具体的な内容

--

問24 障がいのあるなしに関わらず、住み慣れた地域で、自分らしく生きることができる「まち」になるために、事業所内外で取り組んでいること、今後取り組めることについて、教えてください。

(1) 事業所内

取り組んでいること

--

今後取り組めること

--

(2) 地域交流

取り組まれている内容を選んでください。また、今後取り組めることについて教えてください。

	①事業所主催の住民が参加できる行事の開催
	②事業所主催の講座等の開催
	③施設役員への地域住民の就任
	④地域主催行事への参加
	⑤地域行事のための施設開放や備品の貸出
	⑥地域団体役員への施設職員の就任
	⑦地域主催の会議への参加
	⑧ボランティアの受け入れ
	⑨広報・情報誌の配布
	⑩特に取り組んでいることはない
	⑪その他

その他の具体的な内容

--

今後取り組めること

--

(3) 災害時の対応

取り組まれている内容を選んでください。また、今後取り組めることについて教えてください。

	①事業所で災害時のマニュアルを作成している
	②事業所で災害を想定した訓練をしている
	③福祉避難所の指定を受けている事業所と情報交換をしている
	④災害時の対応について近隣住民と連携をしている
	⑤災害時に在宅サービス利用者の安否を確認する体制がある
	⑥災害時に在宅サービス利用者の避難手段・方法について確認している
	⑦災害時に避難場所への人材の協力体制がある
	⑧特に取組んでいることはない
	⑨その他

その他の具体的な内容

--

今後取り組めること

--

(4) 外国人のサービス利用者への取り組み

取り組んでいること

--

今後取り組めること

--

(5) その他の取り組み

取り組んでいること

--

今後取り組めること

--

問25 貴事業所から見て、市内でのサービス充足の状況についてお答えください。

【それぞれ○は1つ】 また、その理由についてもお答えください。

主な施策内容	足りている	不足している	不足している内容や理由
地域で安心して暮らせる、生涯を通じて一貫した相談・支援体制			
住み慣れた地域で障がいのある人が活躍できる環境づくり			
障がいのある人が地域で働ける環境づくり			
多様な障がいへの正しい理解の促進、合理的配慮の提供			
障がいのある人の権利擁護システムの構築			

問26 事業運営上の課題や障がい者福祉全般に対するご意見等がありましたら、記入してください。また、利用者やご家族からのご意見を聞かれている場合は合わせて記入してください。

--

ご協力ありがとうございました。